



1987年6月13日、2131試合連続出場達成し、花束を手にする衣笠祥雄さん

え、GDP比は先進国で最悪となった。不測の事態がおきて市場が崩れ、国債価格が暴落するような事態になったらどうなるか。かつてのような大増税や超インフレに見舞われてもおかしくない。平成経済はそんな潜在リスクを膨らませた。

反論もあるだろう。「いまは日本経済がずっと強く、国民資産も豊かなので破綻することはない」と。実はそんな強気の主張も、戦前の当局の言い分と二重写しだ。

た人が「500」を超えたぞ。国を挙げて取り組み」と電話を入れた。相手は官房副長官で連立政権の要、さきがけの園田博之。元自民党で当選。回、52歳の衆院議員だった。「500」を70歳の村山にすべぐ伝え、国民に深刻さを訴える記者会見へ事を運ぶ。もう1人の長老は元副総理で80歳の後藤田正晴。戦前の内務官僚出身で危機管理にたけた重鎮は、震災発生前に度々官邸に入り、村山を激励しつつ、こっそり各省庁幹部が詰める対策本部へ。被災者支援や復旧の大方針を指示していた。

年10月、大政翼賛会は全国に隣組に宣伝読本「戦費と国債」を150万部配った。国債は節税に有利で利回りもいい、出征した子のため、花嫁の持参金にどんどん買おうべし、と。財政破綻はしないから心配無用、とも説いた。

いわく、国債は借金だが国民が貸し手でもある。わが国産業は著しく発達しており経済は揺らがない。国民に損害を及ぼすことは絶対ない——。現代の財政拡張論者たちの主張と見まがうほどだ。平成は「財政不健全化の時代」（石弘光・元政府税

その後も竹下は村山に、後藤田は官僚トップの官房副長官、68歳の石原信雄に電話しては発破をかけた。長老が出ざるをえなかった初動の深刻な遅れ。石原は竹下内閣の87年から務めた官房副長官を震災翌月に辞めると、「罪滅ぼし」として平成を通じ危機管理の強化へ提言を続ける。一方で園田は、政権交代に揺らがない保守二大勢力を築く政界再編を追い続けた。

た。▼17面―球界の反応、35面―評伝
京都府の出身で、地元の平安高（現龍谷大平安）の3年時には春夏の甲子園に出場し、ともに8強入りした。65年、広島に入団。強打の三塁手として活躍し、広島島の5度のリーグ優勝、3度の日本一に貢献した。球団として初のリーグ優勝

制調査会長）であり、驚くほど戦前に似ている。将来、極度の国民負担を強いる「第2の敗戦」へ歩んだ

折々のことば 1090
電車が人身事故で止まった時、車内で誰かが舌打ちしたりする光景が、すごく怖いんです。稲葉俊郎
テレビでは、心を揺さぶるドラマもニュースやCMで不意に中断される。感情が細切れにされ、しかも人はそれに慣れる。他人の死ですらただの「情報」になって、人を悼む気持ちですと立ち上がらなくなる。と大病院医師は憂う。心に病をもつ人も実はそういう事実には深いダメージを受けているのではないかと。音楽家・大友良英との対話「見えないものに、耳をすまます」から。

折々のことば 1091
病気になるって復活したあとにすごくいい演奏をする人っているんですね。大友良英
対談の相手、大病院医師・稲葉俊郎の、体の弱い人とは「体に対して敏感で、感受性の高い人」だとの発言に、音楽家はこう返す。病気になる、人は体調の変化に耳を傾ける。気圧や湿度の変化、空気の動きにも敏感になる。音楽は、楽器と体と空間とが共鳴しあうもので、たんに耳の快感としてあるのではないということか。昨日と同じ「見えないものに、耳をすまます」から。

山本浩二さんは一番の思い出は「初優勝した年（1975年）のオールスター戦で2人が2打席連続本塁打」と述懐。「休みたいと思っても、彼がそばにいる限り休むことは許されなかった。最高のライバルであり、チームメイトであり、お手下になる選手だった」

時代だと歴史に刻まれることはないだろうか。▼3面―識者の見方（編集委員・原真人）

折々のことば 1090
2018・4・25

折々のことば 1091
2018・4・26

出場の偉業を打ち立て嘱託としてコラム「鉄た。左右の人さし指た独特の打法。ひらがな少ない。ただその原稿ける言葉であふれているだ」。二十数年前、衣情を大写しにしたポス内に貼り出された。休かけだった。骨折して人に「休め」と言われまなきやいけいな、である▼球界でも、連しる、休むことの大切になって久しい。「選とオフの重要さを球界人は、そんな言葉を残

東京 174校参加
東京私立中学 合同相談会
先着7000名 ご来場の皆様にプレゼント!
私立一貫教育の特色と各校の教育理念を徹底したガイドブック

130種類の植物から
酵素
すごい!
お試し 30%割引
植物生まれの酵素
日本産